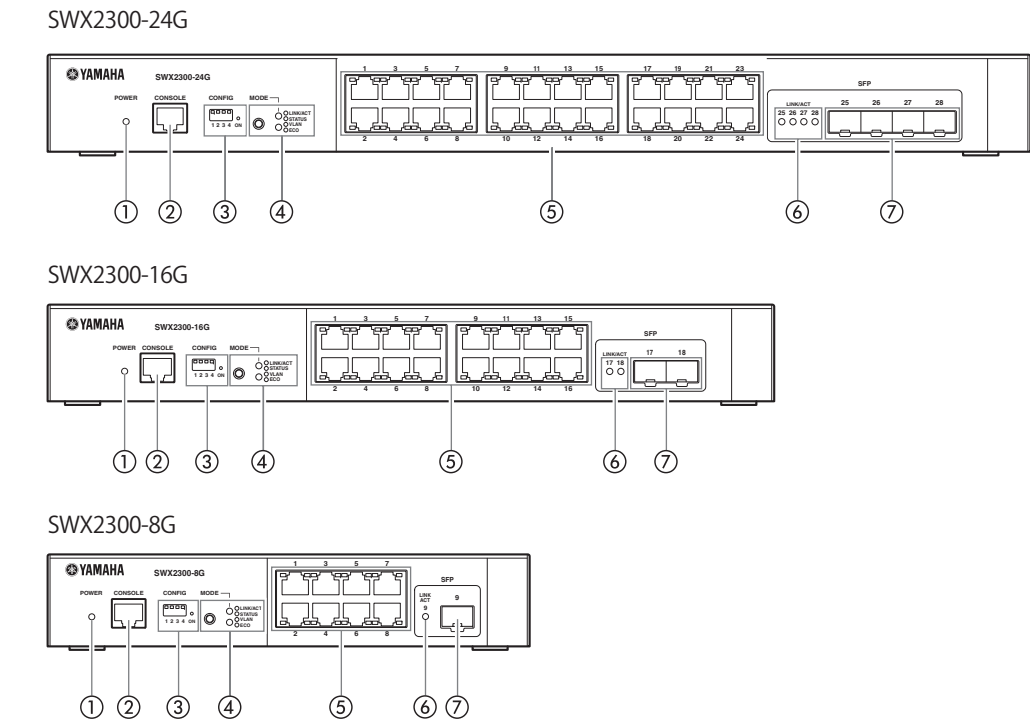


各部の名称とはたらき

前面



- POWERランプ**
本製品が通電時に点灯します。
- CONSOLEポート**
設定用のRJ-45ポートです。
パソコンのRS-232C端子(COMポート)と、RJ-45/DB-9シリアルケーブルで接続します。
RJ-45/DB-9シリアルケーブルは弊社別売のRJ-45コンソールケーブル YRC-RJ45Cをご使用いただくか、YRC-RJ45Cと同等の仕様のRJ-45/DB-9シリアルケーブルをご使用ください。
弊社別売品については下記のWebサイトをご覧ください。
http://jp.yamaha.com/products/network/network_options/
- CONFIGスイッチ**
本製品の動作を設定します。詳しくは「CONFIGスイッチで設定を指定する」をご覧ください。
- MODEボタンとランプ**
MODEボタンで選んだ表示内容について、ポートごとのランプでポートの状態を示します。
ボタンを押すごとに、MODE表示ランプの点灯と表示内容が以下の順に切り換わります。それぞれのモードで、ポートの状態を示すランプは以下のように点灯します。

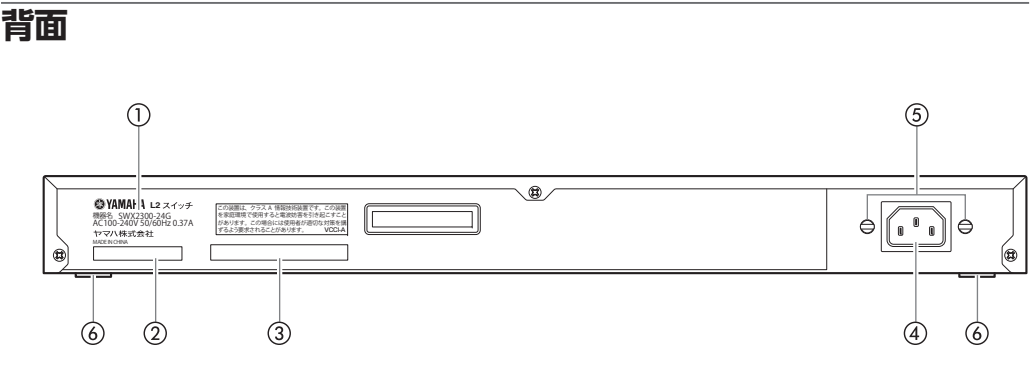
- LINK/ACT (MODE表示ランプ上側が緑色で点灯)**
各ポートのリンク状態と接続状態を表示します。

左側ランプ
 - 緑色で点灯：リンク確立状態です。
 - 緑色で点滅：データ転送中です。
 - 消灯：リンク喪失状態です。
右側ランプ
 - 緑色で点灯：1000BASE-Tで接続しています。
 - 橙色で点灯：100BASE-TXで接続しています。
 - 消灯：10BASE-Tで接続しています。
STATUS (MODE表示ランプ上側が緑色で点灯)
機器の状態を示します。
 - 橙色で点滅：ループを検出し、通信を遮断しました。
 - 橙色で点灯：ループを検出しましたが、通信は遮断していません。
VLAN (MODE表示ランプ下側が緑色で点灯)
各ポートに設定されているVLAN IDを表示します。また、VLAN IDが設定されている場合は、VLAN IDの小さい番号から6種類を下記の順で表示します。

- ご注意**
デフォルトVLAN(VID=1)のアクセスポートはランプが点灯しません。
 - 左側ランプが緑色で点灯
 - 左側ランプが緑色で点灯
 - 右側ランプが緑色で点灯
 - 右側ランプが緑色で点灯
 - 左側ランプが緑色で点灯、右側ランプが緑色で点灯
 - 左側ランプが緑色で点灯、右側ランプが緑色で点灯
- ご注意**
 - 上記6種に該当しないVLANを設定している場合は、左右のランプが緑色で点灯します。
 - 同じポートに複数のVLANを設定している場合は、左右のランプが緑色で点灯します。
- ECO (MODE表示ランプ下側が緑色で点灯)**
POWERランプとMODEランプ以外のランプを消灯します。

- LANポート**
LANケーブルを接続します。全ポート10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T対応です。
- SFPランプ**
SFPポートの状態を示します。
 - 緑色で点灯：リンク確立状態です。
 - 緑色で点滅：データ転送中です。
 - 消灯：リンク喪失状態です。

- SFPポート**
弊社別売のSFPモジュール(YSFP-G-LX、YSFP-G-SX)を装着します。



- 機器名**
- 製造番号**
製品を管理/区分するための製造番号が記載されています。
- MACアドレス**
本製品の機器固有のネットワーク識別番号が記載されています。
- 電源インレット(3極コネクター、C13タイプ)**
付属の電源ケーブルを差し込みます。
- 電源ケーブル抜け防止金具取付穴**
付属品の電源ケーブル抜け防止金具(コの字型)を取り付けます。
付属の電源ケーブル以外では使用しないでください。
- レグ取付位置**
付属のレグを取り付けます。レグは底面四隅の○印に取り付けます。
台などの上に水平置きされる場合は、レグを指定の場所に取り付けてください。

- ご注意**
SWX2300-8Gを弊社別売の専用マウントキットに取り付けてご使用される場合は、レグは取り付けしないでください。

準備する

CONFIGスイッチで設定を指定する

CONFIGスイッチから、本製品の下記の設定を指定します。
スイッチの操作はボールペンまたは小形ドライバーの先など、丸みのあるものをご使用ください。
本製品は起動時にスイッチの設定を読み取り、その設定に従い動作します。
本製品の起動後にスイッチの設定を変更した場合は、次回起動時にスイッチの設定が有効になります。

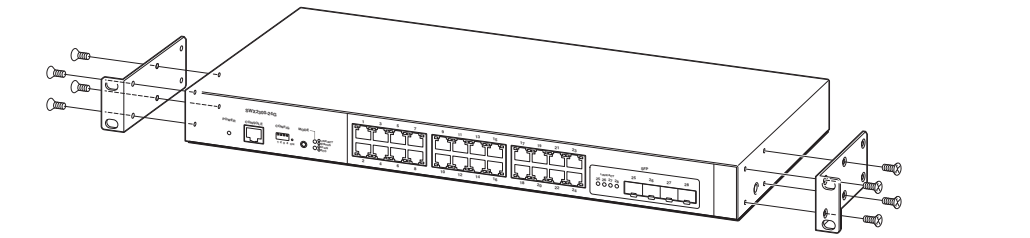
- 設定の切り替え**
本製品は2種類の設定を内部に保持でき、1番のスイッチで動作させる設定を指定します。
- L2MSのON/OFF**
2番のスイッチでL2MSの有効/無効を設定できます。
 - OFF側：L2MSが無効になります。
 - ON側：L2MSが有効になります。なお、L2MSの動作は3番のスイッチの設定に従います。

- スレーブのON/OFF**
3番のスイッチの設定により、本製品は以下の動作をします。
 - OFF側：コントローラーとして動作します。
スレーブとして動作するSWXシリーズや、WLX302を管理します。
 - ON側：スレーブとして動作します。
コントローラーとして動作するSWX2300シリーズ、またはヤマハルーター、ファイヤウォールから管理されます。

- ご注意**
 - L2MS(Layer2 Management Service)とは、ヤマハネットワーク機器をレイヤー 2レベルで管理する機能です。
 - L2MSとヤマハネットワーク機器が対応しているスイッチ制御機能とは相互互換性があります。そのため、本製品でSWXシリーズやWLX302を管理したり、ヤマハルーター、ファイヤウォールから本製品を管理したりすることができます。
 - 同一ネットワーク内にスイッチ制御機能を有効にしたヤマハルーターやファイヤウォール、3番のスイッチをOFF側にして起動したSWX2300シリーズが複数存在した場合は、L2MSが正常に動作しません。同一ネットワークには、コントローラーが1台となるようにしてください。
 - L2MSのON/OFF、スレーブのON/OFFを切り替えるコマンドはありません。
 - 4番のスイッチには機能を割り当てていません。

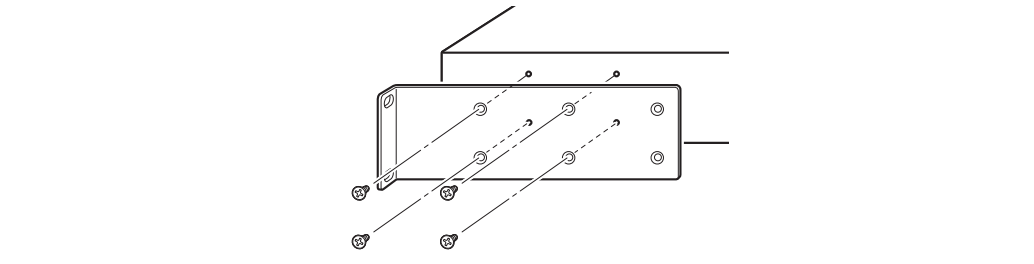
19インチラックに設置する

SWX2300-16GとSWX2300-24Gは19インチラックマウント1Uサイズに適合します。19インチラックに組み込む場合には、付属のラックマウント用金具(2個)を付属のネジ(8本)を使用して固定します。

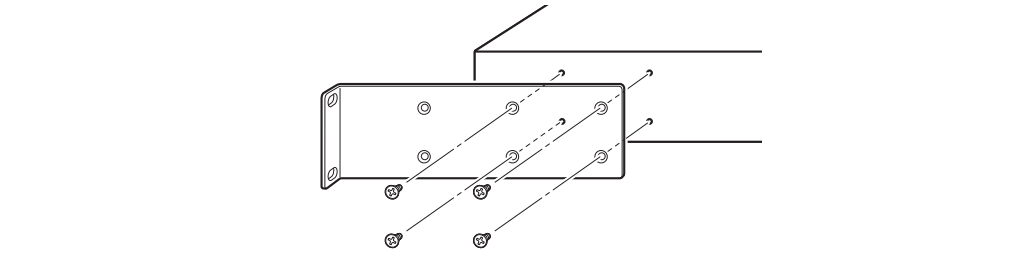


- 本製品に19インチラックマウント用金具を取り付けます。
 - 金具1個あたりにネジ4本を取り付け、確実に固定します。
 - 19インチラックへの取り付けネジは添付しておりません。
- メモ**
イラストのラックマウント用金具はSWX2300-24G用です。
SWX2300-16G用は19インチラックへの取り付け部が長くなっています。
- ご注意**
 - ラック本体に扉がある場合には、本体を組み込んで通信ケーブルや電源ケーブルを配線した後にぶつかることがないように十分注意してください。
 - 本体に金具を取り付ける際は、プラスドライバーで金具1個あたりネジ4本を取り付け、確実に固定します。
 - 付属ラックマウント用金具のネジ以外は絶対に使用しないでください。

- 本製品に19インチラックマウント用金具を取り付けるには、以下の2つの方法があります。
- 方法A：19インチラックマウント用金具のラックネジ面と本製品の前面を、同一面にして取り付ける
通常はこちらの方法で取り付けます。



- 方法B：方法Aよりも、4cm奥に取り付ける
19インチラックに扉がついている場合は、こちらの方法で取り付けます。本製品の前面に挿入したLANケーブルやSFPモジュールがラックの扉に接触しないよう、本製品を奥に取り付けます。



- メモ**
SWX2300-8Gをラックに取り付けるには、弊社別売の専用マウントキットを使用します。詳しくは、下記のWebサイトをご覧ください。
<http://jp.yamaha.com/products/network/>
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

接続する

- ネットワーク機器のLANポートと本製品のLANポートを、LANケーブルで接続する。

- 電源ケーブルを電源インレットに接続する。

メモ
電源ケーブルの不意の脱落を防止するために、付属の電源ケーブル抜け防止金具を取り付けることをおすすめします。付属の電源ケーブル接続前に金具を本体側の穴に差し込み、電源ケーブル接続後に金具を押し下げて固定します。

- アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。**

ご注意
付属の電源ケーブル抜け防止金具は、付属の電源ケーブル専用です。
付属の電源ケーブル以外では、ケーブルの破損や十分な固定ができない可能性があります。

- 電源ケーブルをコンセントに接続する。
POWERランプが点灯します。

- 本製品に接続したネットワーク機器の電源を入れる。
ネットワーク機器を接続したLANポートのランプが点灯または点滅すれば正常です。
- LANポートのランプが点灯または点滅しない場合は**
LANケーブルが正しく接続されているかどうか、接続したネットワーク機器の電源が入っているかどうか確認してください。

本製品の設定を変更する

本製品の設定変更は、「[Web 設定画面]」から行います。また、コンソールコマンドにより詳細な設定を行うこともできます。
詳しくは、右記のWebサイトをご覧ください。<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

本製品の設定を初期化する

MODEボタンを押したまま本製品の電源ケーブルをコンセントに接続すると、本製品の設定を初期化できます。

ハードウェア仕様

| 項目 | 仕様および特性 |
|---|--|
| 外形寸法 | SWX2300-8G:220 (W) × 236 (D) × 42 (H) mm (突起部分を除く) SWX2300-16G:330 (W) × 200 (D) × 44 (H) mm (突起部分を除く) SWX2300-24G:445 (W) × 200 (D) × 44 (H) mm (突起部分を除く) |
| 質量 | SWX2300-8G:1.4kg (付属品含まず) SWX2300-16G:1.9kg (付属品含まず) SWX2300-24G:2.4kg (付属品含まず) |
| 電源電圧、周波数 | AC100 ～ 240V、50/60Hz 付属の電源ケーブルを使用する場合は、日本国内AC100Vのみ使用可能 |
| 最大消費電力 | SWX2300-8G:9W SWX2300-16G:14W SWX2300-24G:20W |
| LAN ポート <div>規格</div> <div>ポート数</div> <div>通信モード</div> <div>コネクター</div> <div>MAC アドレス</div> <div>極性</div> | IEEE802.3 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) SWX2300-8G:8、SWX2300-16G:16、SWX2300-24G:24 オートネゴシエーションまたは固定設定 RJ-45 背面印刷部に表示 ストレート/ クロス自動判別またはストレート固定 |
| CONSOLEポート <div>規格</div> <div>ポート数</div> <div>コネクター</div> <div>データ転送速度</div> | RS-232C 1 RJ-45 9600 bit/s |
| SFPポート <div>規格</div> <div>ポート数</div> | SFP(Small Form-factor Pluggable)対応 SWX2300-8G:1、SWX2300-16G:2、SWX2300-24G:4 |
| ランプ | POWER、MODE (LINK/ACT、STATUS、VLAN、ECO)、SFP、LANポート |
| 電波障害規格 | VCCI クラスA |
| 動作環境条件 <div>周囲温度/周囲湿度</div> | 0 ～ 50℃ /15 ～ 80％ (結露しないこと) |
| 保管環境条件 <div>周囲温度/周囲湿度</div> | －20 ～ 50℃ /10 ～ 90％ (結露しないこと) |
| 省エネ法表示事項 <div>区分名</div> <div>エネルギー消費効率 (W/(Gbit/s))</div> <div>最大実効伝送速度 (Gbit/s)</div> <div>測定時ポート速度とポート数</div> | B SWX2300-8G:0.9、SWX2300-16G:0.7、SWX2300-24G:0.6 SWX2300-8G:9.0、SWX2300-16G:18.0、SWX2300-24G:28.0 SWX2300-8G:1Gbit/s 9、SWX2300-16G: 1Gbit/s 18、SWX2300-24G:1Gbit/s 28 |